

S A A

正 S A A 大谷 公一

副 S A A 岡部 聡史 ・ 合田 雄一 ・ 田所 勤 ・ 中澤 彰宏
原田 勲 ・ 村上 貴一

活動方針

ロータリークラブの基本活動である例会を、品格と秩序を保ちつつ会長・幹事および関係各委員会と緊密に連絡を取りながら準備・運営いたします。本年度の会長の重点方針にある「会員相互の親睦と絆の強化」を実践したいと考えております。

事業計画

1. 規律ある例会が行えるよう、時間を大切にする工夫を凝らして、例会趣旨に沿った例会場の設営をします。
2. 来客・来訪者への心遣いを大切にし、例会が交流を促進する場となる設営をします。
3. 和やかな雰囲気を大切にし、季節感のある楽しい食事ができる設営をします。

クラブ奉仕委員会

委員長 石垣 伸明

副委員長 西山 秀木

委員 柿沼 伸幸 ・ 坂田 浩一 ・ 中島 正義 ・ 福島 良浩
森田 康志 ・ 山口 寿人

活動方針

本年度会長「原点と革新 ― 地域に根ざし、未来へつなぐロータリー」の方針のもと各委員会の活動がスムーズに行われるよう努力すると共に、魅力ある例会の開催を通してクラブ運営が充実するよう努めます。

事業計画

1. クラブ奉仕に関連する各委員会の開催に協力します。
2. 魅力ある例会が開催できるよう支援します。
3. 新規会員の増強につながるよう、熊谷ロータリークラブの認知度を高めることに協力します。

職業分類・会員選考委員会

委員長 福島 良浩

副委員長 上林 寛

委員 今井 徹雄 ・ 黒田小源治 ・ 平岡 和喜 ・ 古山 祥道

活動方針

未充填職業分類を念頭に、会員より推薦された全ての候補者を個人的・社会的に相応しいかどうかを調査し、理事会に報告する。

事業計画

1. 会員増強委員会・ロータリー情報委員会と綿密に情報交換を行う。
2. 職業分類表の調査・研究を行う。

会員増強委員会

委員長 柿沼 伸幸

副委員長 小林 肇

委員 飯島 賢二 ・ 大久保和政 ・ 長谷川貴春 ・ 前嶋 修身

活動方針

本年度クラブ方針は「原点の精神を受け継ぎながら、変化を恐れず、時代に求められるクラブへと進化する」です。伝統は守りつつ新風を感じさせるよう、会員増強に取り組みたいと思います。

事業計画

1. 会員数が100名を超えることを目指します。
2. 職業分類・会員選考委員会と情報の共有化を図ります。
3. ロータリー情報委員会と連携し、新入会員の育成とフォローに努めます。

ロータリー情報委員

委員長 西山 秀木

副委員長 田中 治男

委員 曾根 和也 ・ 藤間 憲一 ・ 中澤 実 ・ 松本 光弘

活動方針

新入会員に対してロータリークラブについて理解し、慣れ親しんでもらう機会を設ける既存会員に対してRI地区からの情報を提供する。

事業計画

1. 入会3年未満の会員を対象にしたオリエンテーションおよび親睦会を実施する。
2. 既存会員への、RI、地区の情報を提供する。

出席推進委員会

委員長 坂田 浩一

副委員長 大石 聡一

委員 田中 哲夫 ・ 時田 芳文 ・ 富岡 清 ・ 本塚 雄一郎

活動方針

ロータリークラブの会合に出席して、何かを持って帰りましょう。顔を合わせて過ごす短い時間だからこそ、有意義な時間になると考えます。多くの会員の皆様に出席いただける様に努めます。

事業計画

1. 例会出席率の向上を目指します。
2. メーキャップの推奨をします。

公共イメージ委員会

委員長 山口 寿人

副委員長 根本 幸一

委員 岡安 哲也 ・ 栗原 尚孝 ・ 齋藤 邦裕 ・ 重竹 淳一

活動方針

熊谷ロータリークラブの「再確認と再発見の年」となるよう、例会および各委員会の活動、ロータリー活動に関する様々な情報を発信することによって、会員に関心を促すようにしてまいります。また、クラブ活動を多くの方に情報提供、発信し、公共イメージの向上に努めます。

事業計画

1. 例会ごとに会報を作成し、的確で正確な情報を発信致します。
2. SNSや動画配信サービスを活用した情報発信の推進を行います。
3. 熊谷ロータリークラブの公共イメージ向上を図る手法を模索します。

親睦活動委員会

委員長 中島 正義

副委員長 高橋 大介

委員 飯塚 幸一 ・ 石山 洋一 ・ 太田 洋 ・ 菊地 陽一
内藤 司 ・ 馬場 俊久 ・ 福井 千秋 ・ 松崎 由誉

活動方針

本年度、会長の「原点と革新一地域に根ざし、未来へつなぐロータリー」に基づき、まず我が委員会メンバーの信頼と友情を深めます。その思いが、会員メンバーの皆様を感じていただける事業を設営してまいります。多くの会員の皆様に出席いただけるよう努めます。

事業計画

1. 誕生祝い
2. 結婚記念の祝い
3. 納涼例会
4. 忘年家族会
5. 親睦家族旅行
6. 引継ぎ例会

プログラム委員会

委員長 森田 康志

副委員長 新井 清貴

委員 出雲路大和 ・ 兼田千鶴子 ・ 前原 郷 ・ 守田 征弘

活動方針

松崎会長の掲げる活動方針「原点と革新 - 地域に根差し、未来へつなぐロータリー」のもと、ロータリーの原点を見つめなおし、未来へつなぐために、時代に即した例会プログラムを提供し、個々の会員が楽しんで頂ける機会となるよう努めてまいります。

事業計画

1. 新入会員をよく知ってもらうために、イニシエーションスピーチを行います。
2. 地域の歴史や各業界の現状を踏まえ、未来へつなぐための情報提供を行います。
3. メンバーそれぞれが楽しんでいただけるような例会を実施します。

職業奉仕委員会

委員長 森田 光春

副委員長 加藤 公教

委員 門平忠一郎 ・ 小林 健郎 ・ 松浦 紀一 ・ 亘 秀之

活動方針

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と定款にあります。具体的には「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を奨励しています。様々な機会を通じて、会員各位に理解を深めながら右記の計画を実践してまいります。

事業計画

1. 「4つのテスト」の浸透を図る。
2. ファイヤーサイドミーティングの実践
 - ①会員企業の事業をお互いに知ってもらう。
 - ② 職業奉仕を通じて地域社会と融和し貢献を考える。

社会奉仕委員会

委員長 谷田 雅彦

副委員長 大塚 崇

委員 井ノ瀬喜一 ・ 大島 譲二 ・ 松本 喜久子 ・ 渡辺 実

活動方針

この委員会は、熊谷ロータリークラブの社会奉仕を実践する場として、新たな社会奉仕活動「3years Rolling Togethers」の提唱を受け、戦略計画委員会と共に熊谷市、熊谷医師会と連携し胆・脾・肝疾患の早期発見スクリーニング運動を2026年度より開始できるように準備します。また、これまで行われてきた事業を継続する事で地域のニーズに対応した社会奉仕活動を推進していきます。

事業計画

1. 新たな社会奉仕活動の提唱と推進。
2. 「モラルアップ熊谷」の事業を継続する。

ニコニコBOX委員会

委員長 野澤 久夫

副委員長 鯨井 隆行

委員 金井陽一郎 ・ 佐久間文彦 ・ 三角 哲也 ・ 山崎 哲資

活動方針

松崎会長が掲げる重点方針「会員相互の親睦と絆の強化」に基づき、全会員の顔が見え、声が届き、例会や行事が、奉仕活動がさらに充実するよう運営して参ります。そして会員ご自身の、ご家族の、会員相互の、その思いが伝わり、親睦がより深まる1年にして参ります。

事業計画

1. 会員皆様の思いをわかりやすく、そして楽しい時間となるよう報告を行います。
2. 例会がより充実するように、また時間等も考慮し企画・運営して参ります。

国際奉仕委員会

委員長 田野 隆広

副委員長 山屋 貴裕

委員 井埜 利博 ・ 大川 隆史 ・ 荻野 智

活動方針

現在、世界中ではウクライナやガザ地区などをはじめ、約 60 もの紛争が起きていると言われています。アフガニスタン、シリア、ソマリア、イエメンなどでは、長期間の紛争が続いています。こうした紛争や戦闘は、多くの犠牲と損害をもたらし、世界中で危険な状態が続いています。

一方、日本国内に目を向けると、近年は訪日外国人観光客が増加しており、国際化に対する対応を迫られている状況にあります。

ロータリーの国際奉仕とは、国際理解、親善、平和を推進するための実践活動です。わがクラブから 2570 地区の国際奉仕委員会へ、田中哲夫副委員長を中心に 4 名の会員が出向します。地区出向者と情報交換を行いながら、日々変化する国際関係を把握し、必要とされる国際奉仕活動を検討します。

事業計画

1. 国際支援、援助活動の継続と考察
2. 熊谷市国際交流協会への協力

ロータリー財団委員会

委員長 新井 隆

副委員長 溝田 義信

委員 大澤 孝至 ・ 木島 一也 ・ 中 淳治 ・ 八木橋宏貴

活動方針

ロータリー財団は国際ロータリーの慈善部門で、自発的な寄付で支えられています。その使命は財団補助金を通じてロータリアンが世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。この目的のために財団の事業内容を良くご理解いただき、年間を通じて善意の寄付を得られるように活動してまいります。

事業計画

1. 会員に財団のプログラムの理解を深めていただく。
2. クラブと会員がロータリー財団への寄付を行うようにする。
3. 11 月の財団月間には財団プログラムへの参加を呼びかけ、推進する。

米山記念奨学委員会

委員長 西田 善明

副委員長 田久保眞理子

委員 大澤 義則 ・ 諏訪部享治 ・ 中濱 仁 ・ 並木 謙一

活動方針

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人奨学生に奨学金を支給し支援する事業です。

支援を受けた留学生在が、国際社会で活躍すると共にロータリー活動の良き理解者となるように、会員の皆様に更なるご支援とご協力をお願いして参ります。また、ロータリー米山記念奨学事業に対し一層の理解が深まるように、ロータリー米山記念奨学生の思いや願いに触れる機会を設けたいと思います。

事業計画

1. ロータリー米山記念奨学事業への寄付活動の推進
2. ロータリー米山記念奨学生を講師とする卓話の企画及び設営

青少年奉仕委員会

委員長 秋山 恵一

副委員長 木村 諭智

委員 栗原 良太 ・ 染谷 政示 ・ 日向美津江 ・ 福島 一也

活動方針

青少年の育成は、ロータリアンの責務と考えます。当委員会は、年齢30歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、青少年の心と体の健全な発展、さらには豊かな人間性を育む一助となれるよう活動してまいります。

青少年の光り輝く未来のため、会員の皆様、ご理解とご協力をお願いします。

事業計画

1. 熊谷ロータリークラブ杯（青少年野球大会「河野杯」）の主催
2. インターアクトクラブの支援
3. ライラ（青少年指導者育成プログラム）のPR

戦略計画委員会

委員長 富田 満

副委員長 西山 秀木

委員 秋山 恵一 ・ 石垣 伸明 ・ 井上 浩 ・ 大谷 公一

柿沼 伸幸 ・ 田野 隆広 ・ 谷田 雅彦 ・ 中島 正義

長谷川貴春 ・ 福島 良浩 ・ 森田 光春 ・ 森田 康志

活動方針

今現在の社会情勢を踏まえ、一般社会から見たロータリーのあり方、役割を考え次世代に必要とされる奉仕とは何かを考えて行きたい。また、魅力ある運動を行って行けばクラブにも人は賛同し、入会者も増える事と考えます。

事業計画

新たな事業として、胆嚢・脾臓・肝臓の健診運動に関する運動の推進 行政と地元医師会と協力し、定期的な尿検査と画像診断を組み合わせたスクリーニングを行う。その活動の広報、支援を行う。時期的には来年度位から3年間の活動計画の策定。この活動の可否を会員に解いて行きたい。